

各位

会社名 株式会社 歯愛メディカル
 代表者名 代表取締役社長 清水 清人
 (コード: 3540、東証JASDAQ)
 問合せ先 経営管理部長 佐々木 浩幸
 (TEL. 076-278-8802)

個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が、前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので、お知らせいたします。

1. 個別決算における前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との差異

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円)
前事業年度実績 (A) (2018年12月期)	25,416	1,827	1,911	1,298	129.81
当事業年度実績 (B) (2019年12月期)	28,252	2,003	2,119	1,512	151.28
増減額 (B-A)	2,835	176	208	214	-
増減率 (%)	11.2	9.7	10.9	16.5	-

2. 差異が生じた理由

当社につきましては主力の通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への参入拡大を進めると共に、動物病院等へも大型医療機器（デジタルレントゲン医療機器等）を販売し確実に実績を積み重ねております。2019年6月に東京で説明会を開催した、唾液によるがんリスク検査「SalivaChecker®（サリバチェッカー）」（五種類のがんを唾液だけで検査できる）を、全国の歯科医院向けに仲介する事業を開始し多数の取り扱い申込をいただいております。また、調剤薬局向けのジェネリック医薬品販売事業も販売拡大を行っております。その他の事業については、CAD/CAM 歯科技工物製作事業、デンタルマガジン出版事業等においても業績は順調に推移いたしました。また、当初歯科医院等の医療機関取引先向けに開始した電力小売取次事業「C i 電たる」においても業績は順調に推移し、動物病院、介護施設等へ販売先も拡大し顕著に推移しております。

このような状況の中、数度にわたる延期を繰り返した消費税の増税及び軽減税率の導入が2019年10月から開始されました。準備期間の短さや政府が打ち出したポイント還元制度などの混乱もありましたが、弊社においては駆け込み需要で2019年9月の売上、利益を押し上げるという結果をもたらしました。

以上の理由より、売上高は前事業年度に比べて増収となり、各利益につきましても前事業年度に比べて増益となりました。

以上